

# 福井市立図書館リニューアル事業基本計画【概要版】

## 1 本計画の目的及び市立図書館の現状と市民ニーズ

### 1-1. 本計画の目的と位置づけ

平成 29 年度に策定した『福井市立図書館リニューアル事業基本構想』で掲げた基本理念や目指す方向性(右図参照)の具体化に向け、新たに実施すべき内容を含む事業計画及び施設整備計画等を定め、リニューアル事業の指針とすることを目的とします。



### 1-2. 現状と市民ニーズ

#### 1-2-1 市立図書館の現状

- 田原町駅北方の文教地区に立地しています。
- 本市の図書館サービス網の中核です。
- 郷土資料は網羅的に収集しており、貴重な「越國文庫」も所蔵しています。
- 参考図書収集などの面でも専門的役割を果たしています。

市立図書館概要(H30.3.31)			
所在地	文京 2 丁目 7 番 7 号	開館日数	282 日
開館年月	昭和 51 年 8 月 2 日	職員数	23 人(臨時職員等含む)
延床面積	3,472.1 m <sup>2</sup>	入館者数	164,676 人
駐車台数	74 台(内、障がい者用 5 台)	蔵書冊数	455,449 冊
休館日	毎週月曜日等	貸出冊数	357,344 冊
開館時間	10:00 - 19:00(火・土・日 -17:15)		

#### 1-2-2 リニューアル事業に対する市民ニーズ

公募市民や市内中学校・高校・大学の生徒・学生と共に開催した市民ワークショップや、市民委員で構成する「福井市立図書館リニューアル事業基本計画・策定委員会」で得られた主な意見は下表のとおりです。

市民ワークショップ意見の概要	策定委員会意見の概要
<p><b>市立図書館の良い点</b>                      児童コーナーや閲覧室の環境</p> <p><b>市立図書館の改善が必要な点</b>                      空間的なゆとりのなさ/立ち寄りにくさ                      各種コーナー・閲覧席・資料の不足                      開館時間・日数の拡大</p> <p><b>リニューアル後に望むこと</b>                      ● 開架スペース：滞在性とゆとりある閲覧環境                      ● ティーンズコーナー：児童書・一般書コーナーとの近接配置                      ● 閲覧室(学習室)：個人でも複数人でも利用可能な環境                      ● 飲食コーナー：自販機の利用や飲食が可能な環境</p>	<p><b>リニューアル後に望むこと</b></p> <p>&lt;開架スペース&gt;                      ● 幅広い資料との出会いを確保するための広さ                      ● 個人席やグループ席等の多様性</p> <p>&lt;閲覧室(学習室)&gt;                      ● 開架スペースとの融合                      ● 成人でも利用可能なグループ学習室                      ● 中高生用の学習室の縮小</p> <p>&lt;飲食スペース&gt;                      ● おしゃべりが気軽にできる開放的な空間                      ● 飲食物の持ち込みや購入・休憩が可能な環境</p>

## 2 サービス計画

### 2-1. 市民の成長に寄り添う図書館

2-1-1 市民のライフステージの変化に対応	
(1) 各世代対応の書架コーナーの設置	児童コーナーやティーンズコーナー、ビジネス関連資料コーナー、高齢期関連資料コーナーなどを設置。
(2) 特設展示の常時実施	子どもの成長や医療・健康増進などに関して幅広くテーマを設定。
2-1-2 市民の課題解決の支援	
(1) レファレンスカウンターの設置	調べ物の相談や利用方法の問合せの対応のためのカウンターを設置。
(2) データベース等端末の配置と利用支援	オンラインデータベースやインターネット端末を設置。利用支援のための講座なども開催。
(3) 学校図書館との連携	学校図書館支援員に向けた研修等を行い、学校図書館活動の支援

### 2-2. 市民の誇りと愛着の促進

2-2-1 地域の歴史・文化・産業の理解と継承	
(1) 地域資料の収集とデジタル化	資料の網羅的収集や貴重資料のデジタル化を推進。より利便性の高い公開方法を検討。
(2) 地域の歴史や祭り等の情報を発信	収集資料を用いた歴史講座、まち歩きイベントなどを想定。
2-2-2 地域産業の歴史と最新情報の紹介	
地元企業の製品の展示、経営者によるセミナーなどを想定。	

### 2-3. 市民の交流

2-3-1 地元商店街や地元大学等との連携	
(1) 地域との融合イベントなどの開催	地域と協働で蚤の市や学術発表会、図書館まつりなどを開催。
(2) 各サークル等の情報発信	展示会やイベント、ホームページや館内の掲示板などを活用。
2-3-2 館内でのボランティアの交流機会の拡大	
図書館ボランティアの活動範囲を拡大。活動継続に向けた取り組みを充実。	

### 2-4. 市民生活の満足感の醸成

2-4-1 市民の精神的な居場所づくり	
(1) 図書リクエストの拡充・相互貸借	リクエスト可能な冊数や対象の拡大を検討。
(2) 利用者によるテーマ展示・帯の作成	ボランティア以外の利用者でも展示や作成が可能な仕組みを構築。
2-4-2 居心地の良い環境の提供	
(1) 会話や飲食が可能なゆったりくつろげるスペースの提供	飲食や休憩可能な交流サロンを設置。児童コーナーやティーンズコーナーでも読み聞かせや会話に対応。
(2) 静かに読書ができるスペースの提供	静寂さや落ち着きを求める利用者、読書や調べ物をする利用者に対応。

### 2-5. 市民一人ひとりに届くサービス網の形成

2-5-1 ユニバーサルサービスの提供	
現在の市立図書館では利用が難しい市民の利用ニーズに対応するため、ユニバーサルデザインに対応。また、大活字本等の資料の充実を図るほか、補聴サービスの導入を検討。	
2-5-2 多文化への対応	
日本語以外を主言語とする方に向けて、洋書コーナーに生活、娯楽、絵本等の資料を展示。	

### 3 施設整備計画

#### 3-1. 敷地概要

場所	福井市文京2丁目714~720の1	防火地域	準防火地域
敷地面積	4,078.5㎡	容積率	200%
区域指定	市街化区域	建蔽率	60%

#### 3-3. 施設構成

##### 3-3-1 施設内容

###### (1) 施設の機能

市立図書館と地域交流センターとの2つの施設で構成する複合施設を整備します。

###### (2) 施設の基本方針

###### 複合施設の整備に関する基本的な考え方

- 双方の施設の利用者に配慮した空間づくり
- 相互利用を促進する空間づくり
- 効率的な管理運営に配慮した空間づくり

#### 3-2. 建物調査結果

建築内外装材	外壁、屋上防水、外部建具、内部全般において全面的な改修が必要
構造躯体	平成18年の耐震診断ではCランク(耐震性は劣る)
電気設備	全面的な改修が必要
機械設備	空調熱源機を除き、全面的な改修が必要



市立図書館の現況

###### 収蔵冊数に関する基本的な考え方

- 福井市図書館 5館で1冊しか所蔵しない資料はすべて市立図書館で保存するものとします。
- 不足する40万冊分の閉架書庫を増築し、適切な取捨選択を行い、収蔵機能を維持していきます。

###### 地域交流センターの建築整備に関する

###### 基本的な考え方

- 地域と交わる場としての空間づくり
- 交流を通じた地域づくりの場としての空間づくり

###### (3) 部門別整備基本方針

機能・部門	各コーナー・諸室	整備基本方針
市立図書館 (既存改修)	一般図書(1、2階)	様々な用途で利用しやすい配架を行い、その中に利用形態の違う閲覧席を配置します。
	ティーンズ図書(1階)	資料を増やし、複数人での会話も可能な環境とすることで居心地の良さを強調し、ティーンズ世代の利用を促進します。
	児童図書(1階)	「おはなしの部屋」「授乳室」を整備し、静かに読書を楽しみたい子どものニーズにも配慮します。
	新聞・雑誌(1階)	約200誌まで対応可能な面積を確保し、デスク等の設置も行います。
	閲覧席・ソファ等(1、2階)	個人席やデスク席、ソファ等を組み合わせて全体で200席程度を各所に配置します。
	サービスデスク等	レファレンスカウンターは、郷土・歴史コーナーに近接して設置し、利用者の調べ学習を支援します。
	グループ学習室	ティーンズコーナーの近くに配置し、ワーキング等に利用しやすい学習室を設けます。
	対面朗読室	対面朗読室を配置し、その周辺に障がいのある方が利用しやすい環境整備を行います。
	閉架書庫	耐火構造床を改装整備し、約20万冊収蔵可能な面積を確保します。
	事務室等	事務室の他、選書や作業ができるバックスペースを設けます。
共用部	トイレ(多目的含む)、昇降機、機械室等を想定します。	
市立図書館 (増築)	閉架書庫	積層書庫で約40万冊収蔵可能な面積を確保します。

機能・部門	各コーナー・諸室	整備基本方針
地域交流 センター (増築)	多目的ホール	120名程度まで対応可能な貸室とし、可動間仕切で3分割程度の分割使用ができるようにします。
	活動室	多彩な用途に使用可能な大きさが違う部屋を複数設けます。また、1室は防音対応とします。
	カフェラウンジ 交流サロン	自動販売機などがある飲食できるラウンジ的スペースを設けます。また、展示等に利用できるスペースを確保します。
	共用部	トイレ(多目的含む)、昇降機、機械室等を想定します。

#### 3-3-2 リニューアル計画

##### (1) 施設計画

既存図書館の耐震診断結果及び市の財政状況を踏まえ、「既存図書館の全面改修及び機能拡張のための増築」を行います。既存図書館と増築部は、機能性や利便性の面から一体の図書館として接続させます。接続にあたり、既存図書館との外観を含めた調和、利便性の向上を踏まえた動線確保及び将来的な既存図書館の改築にも配慮します。

##### (2) 整備スケジュール

可能な限り早期のリニューアルオープンを目指しますが、詳細なスケジュールは基本設計を経て設定します。また、財政状況により計画内容が変更になる場合があります。

### 4 管理運営方針

#### 4-1. 開館日数・時間帯

市民が利用しやすい図書館となるよう、開館日数や開館時間帯の拡大を図っていきます。

#### 4-2. 危機管理体制

想定されるリスクとその対応方法等を整理し、危機管理マニュアルの見直しを行います。

#### 4-3. 運営形態

##### 4-3-1 運営手法

サービス向上と効率的な管理運営を行うため、窓口等の一部民間委託導入について検討していきます。

##### 4-3-2 市民参画

ボランティア制度の拡充を図るほか、ボランティア以外の市民の参画方法についても検討を進めます。



リニューアル後のイメージ